

# おおず

中村修二博士顕彰碑

ノーベル物理学賞受賞



中村修二

略歴 1954年 愛媛県伊方町(旧藤戸町大久) 生  
小学校2年生から大洲市若宮に移り、  
大洲北中学校、大洲高等学校を卒業  
1979年 徳島大学大学院修士課程終了 日本産  
1985年 工学博士(徳島大学)  
工学博士(徳島大学)  
エア大学センターパラ  
学賞受賞 文化勲章受  
大

思い出の場所に顕彰碑



# がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

大洲小学校 4年 (現:大洲小学校 5年)

かみのまこと  
上野真琴さん



将来の夢は、キャビンアテンダントになることです。2年生の時、旅行で初めて乗った飛行機で、細かい気配りをしながら働いている様子を見て、憧れるようになりしました。夢をかかなるために、今習っている英語を頑張っつて続け、細やかな気配りができるような人になりたいです。

私は読書が好きで、週に一度は市立図書館に行つて本を借りています。ピアノを習っているの、ベートーヴェンやショパン、モーツァルトなどに興味があり、今は、音楽家の漫画伝記をよく読んでいます。また、私は図工が好きで、特に絵を描くことが得意です。校内の写生大会では、小学校前の歩道橋の絵を描きました。この絵はとても好きなので、今年の「第43回えひめこども美術展」で特選に選ばれてうれしく思いました。

## 5月の納税など 納期限は5月31日(火)です。

税 別	5月	6月	7月	8月
市 県 民 税		1期		2期
固 定 資 産 税			2期	
軽 自 動 車 税	全期			
国 民 健 康 保 険 税			1期	2期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

## 現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	45,163人 (-234)	件数 44件(48件)
男	21,553人 (-131)	死者 1人(2人)
女	23,610人 (-103)	負傷者 60人(59人)
世帯数	20,137世帯(-28)	

(2016年3月末現在)

## CONTENTS 目次

- 2ページ がんばる大洲っ子・今月の表紙
- 3ページ~ (特集)ありがとう 大和の心を忘れない
- 6ページ~ おおずニュース
- 10ページ~ シリーズ
- 13ページ~ おしらせ
- 25ページ~ 図書館・保健センター・心と体の健康ガイド
- 28ページ がんばるひと (正山星の会)

## 今月の表紙



3月24日(木)、中村博士のノーベル物理学賞受賞を記念して、三の丸並木道お殿様公園横に顕彰碑が設置されました。

顕彰碑は、中村博士が3年間毎日高校に通った道沿いにあり、バレーボールに汗を流した大洲高等学校第2グラウンドを望む場所に建てられています。

(特集)

ありがとう

だいわ

大和の心を忘れない



平成27年度末をもって閉校となった大和<sup>やまと</sup>小学校で3月27日(日)、約120人が参加して閉校記念式典が行われました。

式典で谷本<sup>やまもと</sup>建次校長は、「大和小学校は保護者と地域のみなさんに支えられてきた。子どもたちは、先輩が築いてきた輝かしい歴史と伝統を受け継いで、大きく成長してくれると信じている」と述べられました。児童あいさつでは全児童58人が、行事の思い出を順番に挙げながら、地域のみなさんや保護者へ感謝の言葉を元気よく発表しました。

式典の後には、記念碑の除幕や、記念写真撮影などが青空の下で行われました。





# 地域と歩んだ140年 伝統の歴史に幕

大和小学校は明治8年（1875）、開盛かいせい小学校として創立されて以来、140年という歴史を刻んできました。「強く 正しく やさしく」を校訓とし、児童一人ひとりが自分を「大」きく健やかに伸ばし、学校、家庭、地域がそれに「和」して教育するという校風を受け継ぎ、これまでに3428人の卒業生を輩出してきました。

地域と深く結びついた教育のひとつとして、大正11年（1922）ごろ、川田時衛ときえさんによって大和地区で生まれた「伊予長浜豊年踊り」の伝承があります。



豊年踊りは、現在も保存会によって引き継がれ、大和小学校では昭和54年（1979）に初めて学会で披露されました。以来30年以上にわたり、児童たちは踊りの練習に励み、地域のイベントなどで披露してきました。

長きにわたり地域のみなさんに見守られ、その歴史を閉じることになった大和小学校は、長浜小学校と統合します。

地域の伝統を学び、ふるさとに誇りをもった子どもたちは、新しい場所で新たな歴史を刻みます。

大和小学校  
校長

谷本 建次けんじ さん



大和小学校には「伝承タイム」という時間があり、伝統文化である豊年踊りの継承に取り組むなど、地域の教育力を生かす、地域あってこそこの学校でありました。

閉校は非常に残念でありませんが、子どもたちの学習環境を整えることを考えれば、よい方向ではないかと思っています。

子どもたちは、校歌にあるように、大きな心をもつことを意味する「大和の心」を胸に、大和小学校で学んだ誇りを忘れず頑張ってください。また、小学校は変わっても、これからも大和の子ですので、地域のみなさんには、今までと同じく温かく見守り、育てていただきたいと思ひます。

一番の思い出は、最後の運動会の組み体操で、ピラミッドやサボテンなどの技を全て成功させたことです。

大和小学校で卒業できないのは寂しいですが、長浜小学校では最高学年になるので、低学年の見本になりたいです。



大和小学校5年生  
谷口龍之介りゅうのすけ さん

伝統と歴史のある学校で、140年という節目を迎えることができうれしい反面、私の家族も通った学校が無くなるのは、とても寂しいです。

将来は母のように保育士を目指し、これからも勉強を頑張りたいです。



大和小学校6年生  
矢野 心都みさと さん

直く明るく 学ぼうよ

愛の校舎で 今日もまた

わが父母が きずききた

河口に栄える 大和小

流れて止まぬ 肱川の



大和小学校統廃合  
準備委員会委員長  
大和地区自治会長

叶岡 廣志 さん

「地域全体の願いは、  
子どもの安全・安心  
を守ること」

大和小学校の閉校にあたっては、地域で何度も話し合いを重ねてきました。地区運動会や大和太陽の広場など、小学校を中心に地域活動が続けてきた大和地区にとって、閉校は苦渋の決断でありました。

しかし、子どもたちが安全で安心して学校に通えることが、地域とPTAの共通の願いであり、校舎の耐震性、少子化という課題がある小学校の閉校は、やむを得ないことだと思います。子どもたちには、新しい環境のなかで、勉強やスポーツに一生懸命励んでほしいと思っています。

地域で大和の子どもを育てたいという、私たちの思いは変わっていません。特に、豊年踊りをはじめとした地域伝統文化行事は、後継者を育てるという意味でも、続ける必要があると感じています。

また、現在老朽化している公民館が建て替えとなれば、新たな地域コミュニティの拠点として期待できます。これからも自治会、公民館と連携しながら、新たな地域づくりを進めていきたいと思っています。



します。

それぞれの思い出と誇りを胸に、新しい大和の歴史がスタート

ます。

また、大和地区住民においては、心のよりどころであった小学校の跡地を核とした、新たな地域づくりの第一歩を踏み出すこととなります。

地域と密着した教育は、素直でまじめな心をもった「大和っ子」を育ててきました。子どもたちは、大和で学んだ教訓を忘れず、これから新たな学校生活を始めます。

## 新たなスタートへ